



発行所  
公益財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸谷義雄  
題字 井戸知事

危険物  
決める無事故の  
ストライク

# ひょうご消防のつどい 二〇一六 開催!

消防本部・消防団の幹部、自主防災組織代表者等が  
姫路市文化センターに集う



式典の様子



井戸知事  
式辞

岸谷会長  
あいさつ

平成二八年一〇月三〇日  
(日) 姫路市文化センターにおいてひょうご消防のつどい二〇一六を開催しました。  
このつどいは、兵庫県下の消防本部・消防団の幹部等と共に集い、永年にわたり消防業務に従事してきた消防職員・消防団員の功績を讃えた表彰を行うとともに、幹部の研修を行い、士気の高揚と知識・技術の研鑽を深めることを通じて消防人の強固な団結と消防機関の連携体制を強化することを目的に実施しています。

## 次第

第一部では、山口大学大学院創成科学研究科の瀧本浩一氏を講師に迎えて講演を行い、第二部では知事表彰及び県消防協会長表彰を行いました。

### 第一部

開会のことば 富田副会長  
国歌吹奏  
兵庫県消防協会長あいさつ 岸谷消防協会長  
開催市市長あいさつ 姫路市 内海副市長  
講演 「地域防災力の向上と消防団の役割」  
山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 消防庁消防大学校 客員教授 瀧本 浩一

### 第二部

兵庫県知事式辞 井戸知事  
表彰・感謝  
兵庫県知事表彰・感謝  
兵庫県消防協会長 表彰・感謝  
来賓祝辞  
藤田県議会議長  
中川消防長会副会長 (姫路市消防局長)  
受章者代表謝辞  
三木市消防本部  
消防司令長 藤原 秀行  
閉会のことば 松田副会長

第一部は、山口大学大学院創成科学研究科准教授の瀧本浩一氏に「地域防災力の向上と消防団の役割」と題して講演をいただきました。防災・減災のためにはまず自助が大切であり、自助が存在するからこそ、共助・公助の力が発揮できるとの言葉に、参加者の皆さんは真剣に耳を傾

けておられました。日々の生活に追われて、災害に備えることは後回しにされがちですが、しかし先人たちも「普段から備えておけば」と言うように、まずは備えることが大切です。瀧本氏からは、その要となり得る消防団・自主防災組織に向けて熱いメッセージが送られました。  
第二部では知事表彰及び県消防協会長表彰の授与を行いました。  
なお、今年度の表彰の栄に輝いた団体・個人は次のとおりです。

- 兵庫県知事表彰
  - 表彰旗 姫路市香寺町消防団
  - 竿頭綬 伊丹市消防団
- 功労章
  - 市川町消防団 八三名
  - 上郡町消防団 四四名
- 消防吏員
  - 消防団員 一一二名
  - 消防吏員 二五一名
- 表彰状
  - 消防機関の部 一団体
  - 婦人防火クラブの部 一団体
  - 団体の部 一団体
  - 優良自主防災組織 一三団体
  - 個人の部 二名
- 兵庫県知事感謝
  - 家族の賞 六〇七名
  - 親子二代の賞 一一組
  - 消防協力者賞 個人の部 二名
- 兵庫県消防協会長表彰
  - 表彰旗 神戸市長田消防団
  - 竿頭綬

- 丹波市消防団
- 宍粟市消防団
- 新温泉町消防団
- 功績章 一二八名
- 精進章 二一五名
- 勤続章 四五九名
- 精勤章 四二四名
- 兵庫県消防協会長感謝
  - 家族の賞 三〇年以上 五一名
  - 四〇年以上 一二名



協会長表彰



知事表彰



瀧本氏の講演



代表謝辞

# 「第二五回全国消防操法大会」に出場して 南あわじ市消防団一分団、準優勝 受賞！

## 南あわじ市消防団

一〇月一四日長野県長野市において、第二五回全国消防操法大会が開催され、四千人以上の方が参加しました。本大会は、全国消防団員の消防技術向上と士気の高揚を図り、地域における消防活動の充実と寄与することを目的として、隔年で開催されています。

各都道府県の小型ポンプの部二二隊、ポンプ車の部二五隊、計四七隊（熊本県は熊本地震の影響で出場を辞退）が、日頃から訓練を重ね、安全、

結果は準優勝でした。全国制覇を目標にこれまで取り組んできたので、あと一歩届かなかった悔しさが残りましたが、前回は入賞もできなかったことや応援してくれた方々から祝福の言葉をたくさんいただいたことで、悔しさも少し喜びや感動に変わってきました。

今年度は分団長と指揮者を兼任ということで、選手をしながら分団員をまとめる立場になりました。当初は不安でしたが、相談ののつてくれる先輩や頼りになる分団幹部たちのおかげで円滑に練習等に

取り組めることができ、今回の全国大会の結果につながったと思います。何より嬉しいのは当初より消防活動に積極的に参加してくれる分団員が増えたことです。防災訓練や操法の練習など自ら率先して取組んでくれる団員が増え、集まればみんなが笑顔で楽しく話をしている、団結力の高い分団になってきていると感じました。

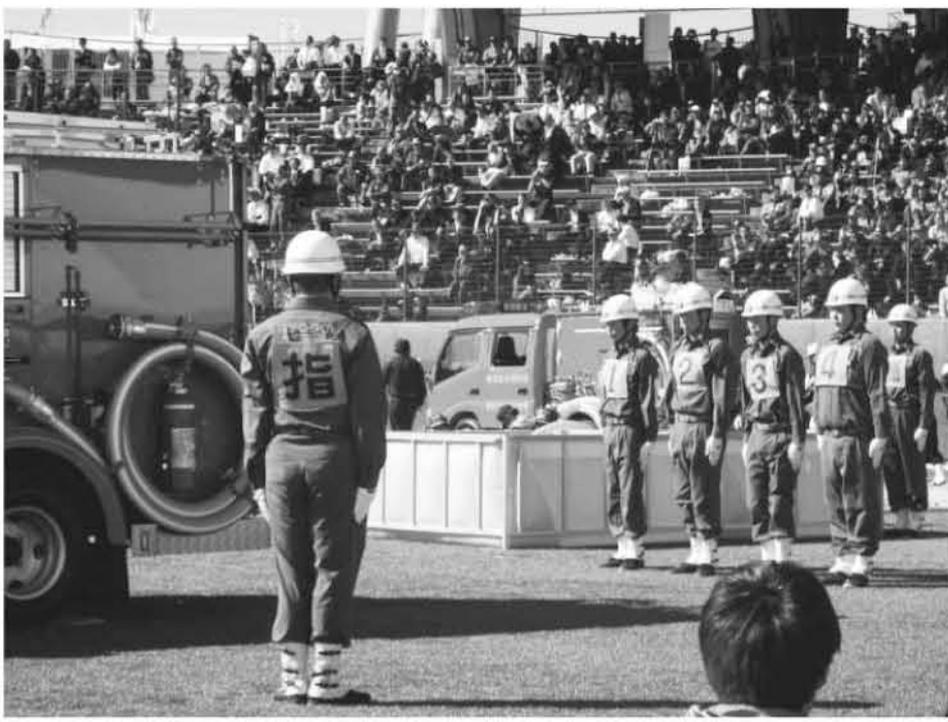
「苦しかった練習の成果を十分に発揮したい」と強い思いで競技に臨み、全国の消防団員の前で、応援を力に変えて堂々と披露してきました。

この度、出場に当たり、兵庫県下の消防団の皆様から、格別のご高配をいただきありがとうございます。おかげをもちまして準優勝という結果を得ることができました。この場をかりて御礼申し上げます。

来年からは、指導者として操法指導に励み、且つ消防団員として地域貢献、郷土愛護に尽くすよう努力したいと思っています。

来年からは、指導者として操法指導に励み、且つ消防団員として地域貢献、郷土愛護に尽くすよう努力したいと思っています。

来年からは、指導者として操法指導に励み、且つ消防団員として地域貢献、郷土愛護に尽くすよう努力したいと思っています。



### 第25回全国消防操法大会成績順位表

ポンプ車の部				
	消防団名	審査総合得点	一線・二線合計タイム	
優勝	島根県 松江市消防団	185.0点	110.53秒	
準優勝	石川県 志賀町消防団	185.0点	112.68秒	
"	岡山県 和気町消防団	184.5点	110.75秒	
"	兵庫県 南あわじ市消防団	183.0点	110.45秒	
優良賞	岩手県 遠野市消防団	177.0点	118.36秒	
"	岡山県 岡崎市額田消防団	176.0点	109.96秒	
"	長野県 諏訪市消防団	175.5点	111.59秒	
"	東京都 福生市消防団	175.5点	112.02秒	
"	福島県 郡山市消防団	175.5点	114.63秒	
"	青森県 十和田市消防団	175.5点	115.68秒	

小型ポンプの部				
	消防団名	審査総合得点	タイム	
優勝	三重県 伊賀市消防団	95.5点	41.58秒	
準優勝	長崎県 大村市消防団	94.0点	42.14秒	
"	静岡県 焼津市消防団	93.0点	42.54秒	
"	長野県 川上村消防団	90.0点	40.80秒	
優良賞	鳥取県 米子市消防団	89.5点	42.38秒	
"	茨城県 阿見町消防団	88.0点	42.55秒	
"	福岡県 須恵町消防団	87.5点	40.12秒	
"	栃木県 益子町消防団	87.0点	41.08秒	
"	福井県 嶺北消防組合坂井消防団	87.0点	42.81秒	
"	秋田県 横手市山内消防団	84.0点	43.72秒	



また、今後そういつた分団員が増えてくれるように願っています。

指揮者 前原 智

また、今後そういつた分団員が増えてくれるように願っています。

指揮者 前原 智

また、今後そういつた分団員が増えてくれるように願っています。

指揮者 前原 智

私が選手をして四年。その間、家族、消防団やその他関係者の方々、地域の人達に支えられてきた事に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。四年間、選手同士で意見の食い違いでぶつかったり助け合ったりいろいろありました。操法や消防団活動で気付けたことなど自分自身成長出来ました。【気持ち一つに！】と掲げず、目標に向かって皆が諦めず、全力で四年間やり遂げた事が

結果（準優勝）より、私には一生の宝物になりました。四年後はこの気持ちを忘れず、次こそは必ず全国制覇を掴んできます！また、今後は、操法で経験したこと、学んだことなどを生かして、普段の生活や消防団活動を極的に取り組んでいきたいと思っています。

三番員 中原 健輔

選手としての四年間という限られた期間の中で、分団と共に走り続けた経験は、今ではかけがえのない財産になっています。消防操法は火災現場に対処するための訓練ですが、訓練を通じて人として成長できた面もありますし、なにより仲間の大切さや心強さを学ぶことができました。私たちが支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも与えられた役割・地域での活動に取り組んでいこうと思っています。

四番員 砂田 直寛

選手としての四年間という限られた期間の中で、分団と共に走り続けた経験は、今ではかけがえのない財産になっています。消防操法は火災現場に対処するための訓練ですが、訓練を通じて人として成長できた面もありますし、なにより仲間の大切さや心強さを学ぶことができました。私たちが支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも与えられた役割・地域での活動に取り組んでいこうと思っています。

四番員 砂田 直寛

選手としての四年間という限られた期間の中で、分団と共に走り続けた経験は、今ではかけがえのない財産になっています。消防操法は火災現場に対処するための訓練ですが、訓練を通じて人として成長できた面もありますし、なにより仲間の大切さや心強さを学ぶことができました。私たちが支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも与えられた役割・地域での活動に取り組んでいこうと思っています。

四番員 砂田 直寛

選手としての四年間という限られた期間の中で、分団と共に走り続けた経験は、今ではかけがえのない財産になっています。消防操法は火災現場に対処するための訓練ですが、訓練を通じて人として成長できた面もありますし、なにより仲間の大切さや心強さを学ぶことができました。私たちが支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも与えられた役割・地域での活動に取り組んでいこうと思っています。



選手への皆さんお疲れ様でした。そしておめでとう。これが補助員が出来るコメントではないでしょうか。補助員は一番近い所から選手の操法を観られるわけですが、基本的に何も助けること出来ません。練習中のホース巻など操法の準備片付けぐらいしか出来ないのです。選手のようなコメントも言えないものか。いいポジションでありましたが、良い思い出が頂けたかと思っております。最後になりましたが、長期間にわたってサポートしてくださった地域の皆様、大会関係者、理解してくれた家族に向けてありがとうございます。どうもありがとうございました。

補助員 中家 和博

選手への皆さんお疲れ様でした。そしておめでとう。これが補助員が出来るコメントではないでしょうか。補助員は一番近い所から選手の操法を観られるわけですが、基本的に何も助けること出来ません。練習中のホース巻など操法の準備片付けぐらいしか出来ないのです。選手のようなコメントも言えないものか。いいポジションでありましたが、良い思い出が頂けたかと思っております。最後になりましたが、長期間にわたってサポートしてくださった地域の皆様、大会関係者、理解してくれた家族に向けてありがとうございます。どうもありがとうございました。

# 第三五回全国消防殉職者慰霊祭

## 記事：(公財)兵庫県消防協会



全国消防殉職者慰霊碑 (日本消防協会屋上)

第三五回全国消防殉職者慰霊祭が、平成二八年九月二十九日、日本消防会館ニッショーホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消防・救急活動を行い不幸にも殉職された全国の消防団員・職員及び一般協力者の方々です。

祭壇には、今回あらたに四柱の御霊が合祀され、あわせて五・六九二柱が奉納されました。式典には当協会から、岸谷会長をはじめご遺族二名が参列されました。御霊の奉納が行われ、黙祷を捧げた後、秋本日本消防協会長の式辞、安倍内閣総理大臣、高市総務大臣からの追悼のことばに続き、多可町の永井泰司様が遺族を代表して追悼のことばを述べられました。

その後は参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、式典は厳かに滞りなく終了しました。



追悼のことば

### 秋季全国火災予防運動の実施 (消防庁予防課)

#### 実施期間

十一月九日(水) から  
十一月五日(火)

#### 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

#### 平成二八年度 全国統一防火標語

『消しましょう  
その火その時  
その場所で』

#### 重点目標

① 住宅防火対策の推進

- ・ 住宅用火災警報器の設置の徹底、適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進
- ・ 住宅用消火器を始めとした住宅用防火機器等の普及促進
- ・ たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
- ・ 防災品の周知及び普及促進
- ・ 消防団、女性(婦人)防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
- ・ 地域の実情に即した広報の推進

- ・ 高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進

- ・ 高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進

② 放火火災防止対策の推進

- ・ 放火火災に対する地域の対応力の向上
- ・ パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
- ・ 効果的な放火火災被害の軽減対策の実施

③ 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

- ・ 防火管理体制の充実
- ・ 避難施設等及び老朽化消火器をはじめとする消防用設備等の維持管理の徹底
- ・ 防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
- ・ 防火対象物定期点検報告制度及び防災管理点検報告制度の周知徹底
- ・ 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進

④ 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

- ・ 製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底
- ・ 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- ・ 催しを主催する者に対する指導
- ・ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
- ・ 火気器具を使用する屋台等への指導

## 消しましょう その火その時 その場所で



全国火災  
予防運動  
11/9～  
11/15



消防庁 予防課  
消防庁 予防課  
消防庁 予防課



# 平成二八年度 南海トラフ地震 住民一斉避難訓練・合同防災訓練実施！ 関係一五市町 自衛隊、消防など約二三〇機関が参加

平成二八年十一月一日（日）、南海トラフ地震住民一斉避難訓練・合同防災訓練を実施しました。県では毎年、地域の市町と共催した合同防災訓練を実施していますが、今回はそれを拡張し、住民参加型訓練を行うなど、より実践的な訓練を行いました。特徴としては、県下初である津波浸水想定全地域の住民一斉避難の実施、緊急速報メール（エリアメール）等の一斉送信、女性、要援護者に配慮した避難所、福祉避難所設置・運営などがあげられます。なお、訓練の詳細については、次のとおりです。

### 目的

従来実施してきた合同防災訓練を拡張し、淡路地域での多会場分散型訓練に加え、より実践的な南海トラフ地震による津波浸水想定全地域における住民参加型避難訓練等により、県民の防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上を図る。

### 実施場所

津波一斉避難訓練：県内浸水想定全地域（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、

たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市）  
合同防災訓練：淡路地域  
訓練想定：………  
南海トラフ巨大地震マグニチュード九、最大震度七、最高津波高八・一メートル

### 重点訓練内容

住民参加型訓練  
シエイクアウト訓練  
避難広報訓練  
避難所設置・運営訓練  
要援護者支援・福祉避難所設置運営訓練  
ペット同行避難訓練  
住民安否確認訓練

### 実働訓練

防潮門扉閉鎖訓練  
救出・救助訓練  
支援助物資避難所搬送・受入訓練  
孤立集落対策訓練（空路による重傷者搬送・緊急物資搬送訓練）  
緊急医療対策訓練  
ボランティアセンター設置・運営訓練  
情報伝達訓練

### 主催

兵庫県・関係一五市町

参加機関・団体：………  
兵庫県、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、

赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市、自衛隊、消防警察、海上保安本部、医療関係機関、ライフライン関係機関、自主防災組織等



～各会場の様子～



# 第八一期初任教育査閲にて 半年間の訓練成果を披露！

消防学校を卒業し、「消防人」として新たな一步を踏み出す！



取材：(公財)兵庫県消防協会  
写真提供：(有)米田フォト

放水訓練披露



岸谷会長より激励の言葉

平成二八年九月二四日(土)、兵庫県消防学校にて第八一期初任教育査閲が執り行われました。

県内二二消防(局)本部から入校した一八三名の教育生達が、半年間厳しい訓練を積み重ね、その遅しく成長した姿を、保護者の皆さんや所属消防本部の方々へ、余すところ無く披露されました。

第八一期初任教育生は、「前を向け！ 辛いときこそ市民のために」というスローガンを掲げました。

彼らはこの半年間、体力限界を感じたときでも、仲間のため、そして目の前にいる市民を助けるため、前を向き続けることを自分自身に言い聞かせながら、声をかけあい一八三名が心を一つに数々の厳しく辛い訓練を乗り越えてきたそうです。

消防学校を卒業後、どんな困難な現場に直面した時でも常に前を向き続け、市民を必ず守るという決意のこもったスローガン。力強く前向きな教育生達の思いは、兵庫県全体の安全と安心にも確実に繋がっていくことでしょう。

第八一期初任教育生の皆さんは、九月二九日(木)に卒業式を終えました。一回りも二回りも成長した彼らはそれぞれの所属で、現場の最前線に就くことになりました。「厳しい訓練を乗り越えて、仲間との絆が深まった。この日々で培ったものは大きな壁を乗り越える力になる。」と答辞で述べられたとおり、これか



第81期初任教育卒業式

ら皆さんが歩む道には大きな壁が立ちます。だから、壁が立ちます。そんなとき、同じ日々を過ごした仲間がきつと力になってくれます。自分の命を大切にしながら、消防士として日々自己研鑽に励んでいただき、兵庫の安全と安心を守っていただきたいと思えます。

# 消防団。ピックアップ

『香美町防災訓練が開催されました!!』

## 香美町消防団

平成一七年四月一日、旧美方町、旧村岡町、旧香住町が合併して香美町が誕生しました。

香美町は但馬北部に位置し、日本海に面する地域で、内陸部は標高千メートル級の中国山地に囲まれ、林野が約八六%を占めています。町の中心を南北に縦断する矢田川水系沿いに耕地や居住地を形成し、総面積約三六八・八平方キロメートルと広大なエリアで、但馬地域の約一七パーセントを占めています。

香美町消防団は、香住支団一一分団、村岡支団一二分団、小代支団八分団で構成され九一八〇人の団員が町民の生命・財産を守るため日々活動しています。



【訓練想定】  
兵庫県の本海沿岸沖を震源とするマグニチュード七・七、震度六弱の地震が午前七時発生したとするものと、台風の影響に伴い大雨・暴風警報が発令され午前七時二五分に土砂災害警戒情報が発表されたとする



【訓練の様子】  
二つ。予想津波高は町地域防災計画の想定津波高三m程度、家屋被害のほか道路の一部通行止めといった交通網の不通行また一部の地域での固定電話や携帯電話などが不通またはつながりにくい状態となっているとしました。

【訓練の様子】  
「自助」「共助」の意識を高めるため、家庭でのシエイクアウト訓練、避難訓練や災害時要援護者の避難支援訓練、情報収集・伝達訓練、初期消火訓練、負傷者搬送訓練などを実施。  
また、役場本庁舎に設けられた町災害対策本部では、電話網が使用できない場合の情報収集・伝達の手段について、アマチュア無線や消防・防災行政無線、無線を搭載した公用車の活用など多様な連絡手段の確認を行いながら、参加団体と連携し「公助」の強化を図りました。このほかにも小学校区ごとの分駐所や二次避難所の開設、香住病院による救護所開設運営訓練を行っ

## 『消防団と消防本部で築く防災』

### 三田市消防団

三田市は、兵庫県の南東部に位置し、神戸市の市街地より六甲山系を越えて北へ約二五キロメートル、大阪市より北西へ約三五キロメートルの圏域にあります。人口は約一三万三、〇〇〇人で、比較的低い山々に囲まれた盆地にあり、中央に武庫川が流れ、肥沃で広大な流域を形成しており、人と自然が共存した市になります。

三田市消防団は、一本部・七分団で構成されており、消防団員は総数七〇四名（条例定数七〇四名）となっています。

三田市消防大会を開催  
三田市消防大会を平成二八年四月三日、三田市総合文化センター駐車場において開催いたしました。この消防大会は、昨年まで屋内で実施しておりましたが、今年は三田市消防本部発足五〇周年記念大会として、屋外で開催することとなりました。それに伴い消防団員・消防職員による部隊両行進を実施しました。式典終了後には、三田市立狭間中学校のドリル演奏に始まり、兵庫県立三田祥雲館高校チアリーディング部によるチアリーディング演技と、女性デュオユニット「あまゆいず」と女性消防団員による防災啓発ミニライブが行われました。



【あまゆいず】と女性消防団による防災啓発ライブ

た。二次避難所では、避難者の受付、保健師等による健康チェック、町災害対策本部との情報収集・伝達、非常食（アルファ米）、給水タンクによる給食・給水、今回初めて実施した救護所開設運営訓練では、同病院の医師や看護師らが、負傷して運び込まれた対応に当たり、受付誘導、トリアージ、応急処置をするなど本番さながらの訓練を行いました。香美町消防団は、これらの訓練のほか、自治会・自主防災会を対象とした初期消火訓練の指導にあたりました。大きく分けて①パケツリ②消火器による消火訓練③消火栓からの消火訓練があり、各訓練において器具の取扱いや注意事項などを実演を交えて指導しました。



消防団による、はしご演技

訓練が行われ消防大会を締めくくりました。



三田市から消防団にタブレット端末が、交付されました

消防団にタブレット運用開始!!  
三田市消防団では、平成二八年九月一日から、災害現場の情報共有を目的に、災害現場

また、消防団全分団による、はしご演技が行われました。全分団七基による、はしご演技は消防団員の緊張が会場全体に伝わり、火消しの心意気の高まった演技に会場から盛大な拍手が起きました。最後に救助隊と兵庫県消防防災航空隊による合同救助訓練、フィナーレとして消防職員によりまず一斉放水



このタブレットには、専用のコミュニケーションアプリをインストールしグループ化しており、同じ情報を即時に共有することができます。従来、消防団と消防本部との連絡手段として、無線機や携帯・有線電話で連絡を行っていましたが、タブレットの導入後は、画像等で情報共有することができ、現場の状況が一目瞭然となり正確な情報共有が行うことが可能となりました。また、消防本部のパソコンを通じて、市災害対策本部会議の結果や現場活動指示を、タブレットに送信することもできます。運用開始した九月には、大雨による警戒活動や台風接近による警戒活動において消防団が数回出動し、タブレットを活用した活動が行われ、現場の状況を正確に把握することにより、迅速かつ的確な消防団活動につながりました。

今後も災害現場においてタブレットを活用し、三田市民の安全を守るため三田市消防団一致団結し、消防団活動に努めていきます。

# わが町の団長さん

## 「安全で安心に暮らせる町を」目指して

加古川市消防団

田中 康弘



加古川市は、一級河川「加古川」が市のほぼ中央部を流れており、水の恵みを受け、発展してきたまちです。臨海部は東播磨地区石油コンビナート等特別防災区域を含む工業地域があり、中央部にはJR加古川駅を中心とした商業地区が拡がり、北部は田園地帯から山林へと続いています。このような地域性のため、火災種別は工場火災や密集地での火災、林野火災など多様であり、これらの火災に対応するため、消防団は常に

消火訓練等を積み重ねています。加古川市消防団は、現在、女性分団を含め一団本部、一九分団、団員数一、一八一名となっております。このような加古川市消防団に田中団長は昭和四十九年に入団、以来四一年間消防団活動を続けられ、消防団に対する情熱と行動力、そして実績と経験を持って、平成二八年四月に第九代消防団長に就任されました。入団当初から、消防団の活性化を願い、施設・装備の充

実をはじめ団員の確保にも尽力されました。団長に就任後、大きな災害は発生しておりませんが、常に団長としての責任を持ち、職務を遂行されておられます。今後は、さらなる発展を目指し、団員一丸となり、火災予防や自主防災組織の育成及び応急手当の普及に積極的に取り組み、市民が安全で安心に暮らせる町を目指して、日々活躍されています。

# われら若手消防団員

## ～『劇団四分団』、活躍中です！～

丹波市消防団 青垣支団  
第四分団 分団長  
足立 勝



私が所属している分団では、地元団員の有志による地域密着型の集まりがあります。それが『劇団四分団』です。寂しい話ではありませんが、私たち団員が通っていた母校の遠阪小学校は平成二九年三月末をもって廃校となりました。そこで私たち『劇団四分団』が立ち上り、「今の児童たちに少しでも喜んでもらい、元気を与え、そして思い出を作ってあげよう!!」を合言葉に五年前より運動会や発表会で活動しています。運動会では、『ようかい体操第一』を児童たちと踊ったことや、また、地元山垣城の築城から落城までの歴史を劇で再現し、紅組・白組にわかれ、スポーツチャンバラをするなど、地域にちなんだ取り組みで、運動会を盛り上げていきます。また発表会では、運動会とは異なり、しめやかに校歌を熱唱、ハンドベル演奏、PTAとコラボし地域版にアレンジしたブレイメンの音楽隊など、多彩な演目をおこない、会場からは『消防さんかっこいい!!』『感動し



た」等の声があがりました。劇団員たちは運動会、発表会などの準備に嫌な顔一つせず、一生懸命取り組んでくれます。気が付けば、知らず知らずのうちに『最強のチームワーク』が生まれ、二年に一度おこなわれる『丹波市消防操法大会』では、ポンプ車の部で、二連覇中。小型ポンプの部では、必ず地区予選を通過しています。詳しくはYouTube『劇団四分団』で検索を!!

# がんばってます、女性消防団員

## 『女性消防団員だからこそ「気づく事・できる事」』

赤穂市消防団

団員 宮本 寛子



「す。」というように、市民のみなさんに知らなかったことを知ってもらおうこと、知っているとというだけで安心できること。それを自分達の方法で、楽しみながらPRしている女性団員が全国には大勢いて、意識啓発において重要な役割を担っています。

地震！雷！火事！親父たち！いえ、地域の若え衆が一大事に「てーへんだ」と駆けていく！それが消防団の世界だと思っていました。そんな熱くも心優しい男性団員と一緒に写真に納まる私たち。腕力も持ち前の野次馬根性もそのままで。しかし、そんな私たちがだからこそ伝えられることがあります。

例えば、「火災による死亡原因の第一位は逃げ遅れによるもので、だからこそ住宅用火災警報器が必要なんです。」というように、市民のみなさんに知らなかったことを知ってもらおうこと、知っているとというだけで安心できること。それを自分達の方法で、楽しみながらPRしている女性団員が全国には大勢いて、意識啓発において重要な役割を担っています。



# 地域のお知らせ

## 姫路市網干区

### 「チヨースー」で団結

去る一〇月、姫路市では有名な松原八幡神社の「灘のけんか祭り」を筆頭に、飾磨地区の恵美酒神社・浜の宮天満宮・中島天満宮・津田天満神社・英賀神社等で、大塩的形地区では大塩天満宮・湊神社その他にも高岳神社・荒川神社等々の各地区で秋祭りが行われました。

網干消防団の管轄する網干地区でも各神社で秋祭りが行われましたが、特に「提灯祭り」とも呼ばれる二五ヶ村一万数千戸の氏子を抱える魚吹八幡神社の例大祭が、例年通り一〇月二一・二二日の両日に渡り盛大に行われました。

なってきた一千本の高張り提灯行列が楼門前に差し掛かると一転、提灯を掲げた青竹が空高く激しく叩き合わせられ、その激しい音と粉々にはじけ飛ぶ提灯、氏子の掛け声、観客のどよめき等が一体となり、祭りの興奮は最高潮に達しました。



二二日の本宮では、他の地区の秋祭りで行われる練り合わせでなく、集結した十八台の屋台が順次「チヨースー」の掛け声に合わせて宙に差し上げられ、その勇壮かつ華麗な光景を競い合いました。例大祭ではその他に、だんじり行列・還御祭・獅子舞・だんじり芸奉納などが執り行われました。

この古式ゆかしい例祭は「魚吹八幡神社秋季祭風流」として平成一九年に県の無形文

## 神戸市北区

### 伝統ある街「有野町」を守る有野支団



神戸市北消防団有野支団は、支団本部を神戸電鉄岡場駅近隣の北神ビル二階に置き、有野町内を八分団で管轄しています。有野町内には各地区一三の自治会があり、有野町自治連合会が統括し、防災コミュニケーションも所属組織として活動しています。女性消防団員を含め、有野支団全体で地域の活動に参加し、防火防災活動を行っています。

これら指定された歴史と伝統を頑なに守るため、各地区で惣代・自治会役員・祭典委員・青年団などの主要メンバーとして多くの消防団員が活躍しており、その団結力が地域の安全と安心を守る礎になっています。



開発が進む一方で、伝統のある神社や仏閣が各地に現存しており、旧摂津の国有馬郡の一の宮であった「有間神社」をはじめ、二郎の「大歳神社」、平清盛ゆかりの「多聞寺」などが有名です。

地域特産物としては、特に有野町北端の二郎地区のイチゴ栽培が有名で、四月から六月頃には露地栽培のイチゴ狩りと治道直売が行われます。期間中の土・日曜日などは観光バス等で多くの観光客が訪れ、幹線道路の有馬街道が渋滞するほどです。この地区では、農業に従事しながら消防活動に懸命に参加している消防団員が多数在籍し、緊急時にはいち早く駆けつけてくれます。

有野町は、北区北部の中心地という要素が強く、行政施設や商業施設なども整備されます。有野支団も雑踏警備等に協力しました。

有野町は、南から大池、唐櫃、有野、二郎へと有野川流域に沿って開けた地域です。昭和三年の神有鉄道（現在の神戸電鉄）の開通により、急速に人の往来が増え、都市文化が浸透してきました。当時は、兵庫県有馬郡有野村でしたが、昭和二二年に神戸市に編入合併し、神戸市兵庫区に有野町となりました。その後、東大池、唐櫃台、有野台、藤原台、北神星和台などの大規模な住宅団地が開発されました。人口増加のため昭和四八年に、神戸市兵庫区から区分し神戸市北区有野町となりました。



野町有野西尾）に遷座され、昨年平成二七年一〇月に遷座一、三〇〇年祭が盛大に催されました。有野支団も雑踏警備等に協力しました。

神社の敷地は、二八、〇〇〇平方メートルあり、そのうち約七、〇〇〇平方メートルには椎の木が群生し、自然にリサイクルしている様子が珍しく貴重なものとして、昭和六〇年に兵庫県の環境緑地保全地域に、平成一一年には神戸市指定天然記念物に指定されています。

有野町に鎮座されるのに、なぜ「有間神社」？という質問をよく受けますが、日本の古代用語で「アリ・アル」とは「山」を、「マ」とは「間」を意味し、古来六甲の山に抱かれていたことから「有間」と呼ばれていました。有馬温泉の「有馬」と言う字は日本書紀には「有間」と表記されていますが、なぜ「有間」から「有馬」と言う字に転移したのは定かではありません。このように、自然に囲まれ伝統的な文化を大切にしている街有野へ是非一度お越しください。

## 編集後記

朝夕冷え込むようになり、冬はもう目の前ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号では一面に、ひょうご消防のつどい二〇一六の記事を掲載しております。当日は多くの方にご参加いただき、充実したイベントを開催することができました。皆様のご支援、誠にありがとうございました。また、開催にあたっては中播磨地区の皆様をはじめ、たくさんの方のご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

去る一〇月一四日に開催されました全国消防操法大会では、ポンプ車の部において、南あわじ市消防団が準優勝の成績を収められました。寄稿記事を二面に掲載しておりますので、ご覧ください。

これからの時期は空気が乾燥し、また、暖房器具を使う機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすくなります。火の取扱いには十分ご注意ください。

